



市区町村としての例

松本市の 食品ロス削減の取組み



松本市

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

おそとで

さんまる いちまる

◇ 残さず食べよう！30・10運動 飲食店での食べ残しを減らす取組み

H23年度～

大勢での
宴会・会合

乾杯



乾杯後
30分間は
席を立たず
料理を楽しみ
ましょう。

宴会



お開き前
10分間は
自分の席に戻って、
再度料理を
楽しみましょう。

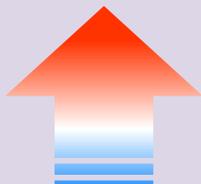
お開き

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後30分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前10分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

◇ **残さず食べよう！30・10運動** 家庭での食べ残しを減らす取組み

家庭版

- 30日** ⇒ 冷蔵庫クリーンアップデー
期限の近い物、残り物を使い切り冷蔵庫を空に
- 10日** ⇒ もったいないクッキングデー
今まで捨てていた野菜の茎等を使うことに挑戦



キーワードは「**30・10**」

語呂が
良い

覚えや
すい

飲食店版

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後**30**分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前**10**分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。



食べ残しを含めた食品ロス全体の削減へ

◇ 園児を対象とした参加型環境教育

家庭での食べ残しを減らす取組み

キーワード 「参加型・とにかく楽しく」

対象 市立全保育園・幼稚園 年長児(全46園)
期間 6月～12月
内容 パワーポイントを使用して職員が説明

「捨てたものはどうなる？」

分別すると新しい物に生まれ変わる など

「食べ残したものはどうなる？」

作ってくれた人への感謝の心が大切 など



◇食品ロス削減啓発用紙芝居作成プロジェクト

家庭での食べ残しを減らす取り組み

紙芝居のコンセプト

「もったいない」の心



「アルプちゃん」と「ろすのん」のコラボ



消費者庁等を通じて全国発信



<プロジェクトメンバー>

- 降旗まどか (里山辺保育園)
- 市川美里 (波田ひがし保育園)
- 小林あゆみ (環境政策課)
- 菅原千史 (さくら保育園)
- 野村佳菜 (白板保育園)

<アドバイス>

竹迫祐子(安曇野ちひろ美術館副館長)



H26.7~H27.1の間に計11回実施



市内全保育園・幼稚園、図書館、こどもプラザ等に配布
データは、松本市及び消費者庁のホームページに掲載、自由にダウンロード可能
<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/osirase/foodloss-kamishibai.html>

◇ 小学校環境教育

家庭での食べ残しを減らす取組み

対象 市内全小学校(国・私・市立) 3年生(全30校)
期間 7月~12月
内容 パワーポイントを使用して職員が説明

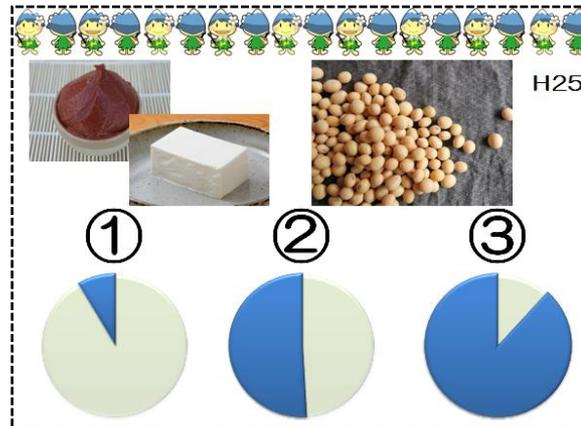
食べものの“もったいない”に気づきを！

【構成】

- ①食べ物にはたくさんの人や資源が関わっている
- ②世界には食べたくても食べられない人がいる
- ③日本は世界から食料を買っている
- ④それでも食べ物を捨ててしまっている



たくさんの人や資源が関わっていること



食料自給率など(クイズで説明)



食品ロスの詳細について(写真)

◇ H27～28年度事業

H28

飲食店での取り組み

30・10運動(飲食店版)の推進

まずは、食べきりを行うことを推進
市民に30・10運動を知ってもらい、実践して
もらうため、積極的に宣伝を行う

➔ 周知

啓発用ポケットティッシュ

商工会議所折込チラシ

実践

啓発用ペーパーコースター

「残さず食
べよう！」推
進店・事業
所認定制度

プラチナメニュー提供店の募集

プラチナメニュー提供店を募集し、協力店は市の公式ホームページ等で紹介

持ち帰りに係る研究

持ち帰りに係る実態調査を行うとともに、課題を整理

30・10運動(家庭版)の推進

これまでの30・10運動と併せ、食べ物に対
する関心を高め、食品ロス全体の削減を目
指す

➔

適切な
情報提供

マグネット付ハンドブック

もったいないクッキングレシピ集

園児環境教育の継続

園児対象の環境教育を継続
するとともに、変化した意識を
継続させるための取り組みを実施

➔

こども用エコバッグ ⇒ 家庭で活用

実際にペットボトルで再生したエコバッグを配布、自ら使うことでリサイクル及び食べ物の大切さを身近に捉えさせ意識を継続。

紙芝居 ⇒ 園で活用

園児が毎日見る機会のある紙芝居により意識を継続。紙芝居は、「アルプちゃん」と「ろすのん」も登場。アルプちゃんを全国のご当地キャラに入れ変えることで全国でも使用可

➔

環境省モデル事業の実施(学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の3R促進事業)

学校給食における食べ残し量を環境教育実施の前後で測定し効果を検証

➔

市内の全小
学校3年生を
対象に実施

フードドライブ

NPO法人フードバンク信州が行うフードドライブに、共催として実施(場所の提供や広報で協力)

家庭での取り組み